



(ひかり かがやく子)

「蛍」の子

堀之内小学校だより
R 7年度 5月号
令和7年4月30日

【重点目標】「自分からひかる 人のためにひかる みんなとひかる」

「えんぴつの持ち方」

先日、ある書道教室の先生から伺ったお話です。

校長先生、最近は家でも学校でも「鉛筆の持ち方」についてあまり言わなくなっているでしょ？ 社会全体がそういう感じですけど、でもね、鉛筆の持ち方と姿勢はとっても影響しているんですよ。「姿勢の悪い子」の原因は、鉛筆の持ち方が悪いからなんです。

最近の子は、鉛筆を『グー』で握って、人差し指の上に親指が乗る子が多いでしょ？ そうなるとペン先が見えなくなるんですね。ペン先が見えないと字は書けませんから、必然的に、体を左に傾けて、左側から見ないと(ペン先が)見えないんです。結果、姿勢が悪かったり、背骨が曲がったりする子が出るんです。

背骨が曲がると大変ですよ。今度は、内臓が弱ってきますから。だから、鉛筆の持ち方は、その子の体調まで影響が出るんです。「鉛筆の持ち方」って、思っている以上に大事なんですよ。

その後、自分でも試しましたが、確かに「グー」握りで鉛筆を持つとペン先が見えません。グーで持ったまま書こうとすると自然に体も傾いてしまいます。

教室を回って見ると、確かに、子どもたちは実にいろいろな持ち方をしています。中には、ペン先を見ようと、紙やノートを斜めに置いたり、グーを体とは反対側に思いっきり倒していたり、様々な工夫(???)された「持ち方や姿勢」が存在しています。ペン先を見ようといろいろと試した結果そうなったんだと思います。

タブレットやパソコンで「打つ」ことが多い生活になっていますが、「正しい鉛筆の持ち方」の大切さを改めて感じました。



(校長 後藤克巳)